

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公開番号】特開2005-160070(P2005-160070A)

【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2005-023

【出願番号】特願2004-334791(P2004-334791)

【国際特許分類】

H 04 Q 7/34 (2006.01)

H 04 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 106 A

H 04 L 12/28 300 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月13日(2007.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線ネットワーク内デバイス接近判別方法であって、

検出される無線ネットワーク輻射信号の特性を第1のデバイスにて抽出するステップと

、
無線ネットワーク上にある他の少なくとも1個のデバイスからネットワーク特性に関する放送を受信するステップと、

第1のデバイスにて抽出したネットワーク特性と無線ネットワーク上の他のデバイスからの放送として受信したネットワーク特性とを比較するステップと、

ネットワーク特性が所定の関係にある場合に第1のデバイスと上記他のデバイスとが互いに近いところにあると判定するステップと、

を有する方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法において、ネットワーク特性を抽出するステップが、

検出可能な無線ネットワーク輻射信号を各無線アクセスポイントから輻射するステップと、

無線アクセスポイント毎に信号強度及びノイズレベルを計測するステップと、

無線アクセスポイントのMACアドレスの検出を試行するステップと、

を含む方法。

【請求項3】

請求項1記載の方法において、更に、第1のデバイスにて抽出したネットワーク特性を無線ネットワーク上に放送するステップを有する方法。

【請求項4】

請求項2記載の方法において、更に、計測した信号強度及びノイズレベル並びにMACアドレスを格納するステップを有する方法。

【請求項5】

請求項1記載の方法において、更に、上記他のデバイスの位置が既知である場合に当該他のデバイスに対する第1のデバイスの相対位置を決定するステップを有する方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載の方法において、ネットワーク特性同士を比較するステップが、各ネットワーク特性の輻射空間内距離を計測するステップを含む方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の方法において、輻射空間内距離が、各チャネル毎に信号強度及びノイズレベルにおけるギャップの総計を計測することにより決定される方法。

【請求項 8】

請求項 6 記載の方法において、輻射空間内距離が、次の関係

【数 1】

$$D_{Manhattan} = \sum_{ch} |SS_{ch} - SS'_{ch}| + \sum_{ch} |NL_{ch} - NL'_{ch}|.$$

による実行時間窓に亘り、各チャネル c h 每に信号強度 SS_{ch} 及びノイズレベル NL_{ch} におけるギャップの総計を計測することにより決定される方法。